

大阪市の認知症高齢者等の現況

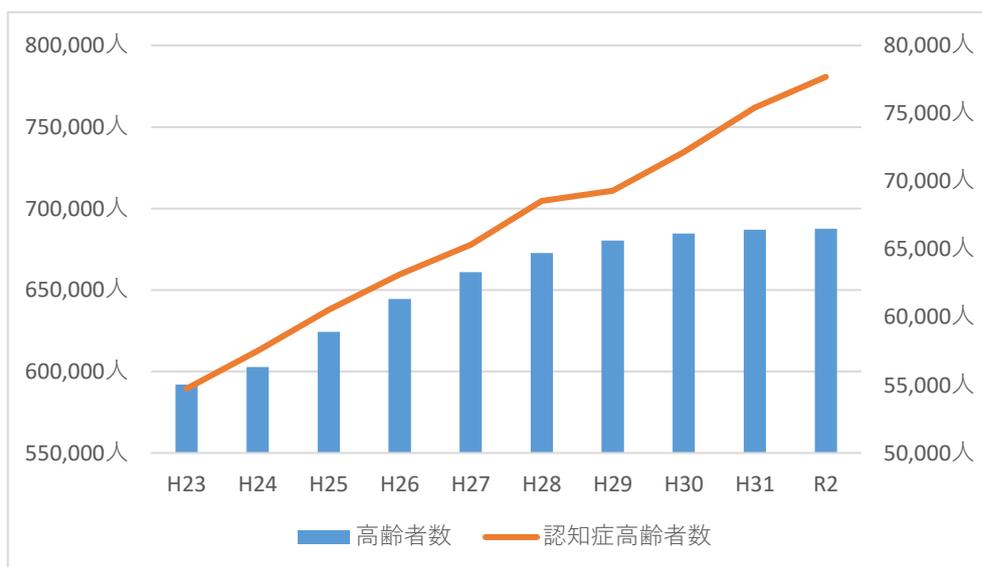
1. 認知症高齢者数の推移

認知症高齢者数	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)
65歳以上 (日常生活自立度Ⅱ以上)	65,336人	68,554人	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人
前年増加率	103.5%	104.9%	101.1%	104.1%	104.5%	103.0%
高齢者数(65歳以上)に占める割合	9.9%	10.2%	10.2%	10.5%	11.0%	11.3%
75歳以上 (日常生活自立度Ⅱ以上)	57,290人	59,942人	61,210人	64,017人	67,179人	69,352人
高齢者数(75歳以上)に占める割合	18.3%	18.5%	18.1%	18.4%	18.8%	19.2%
40歳～64歳 (日常生活自立度Ⅱ以上)	1,544人	1,539人	1,508人	1,487人	1,516人	1,519人

(参考: 高齢者数(第1号被保険者数)各年3月末現在)

高齢者数(65歳以上)	660,973人	672,773人	680,434人	684,566人	686,968人	687,673人
前年増加率	102.6%	101.8%	101.1%	100.6%	100.4%	100.1%
高齢者数(75歳以上)	313,728人	324,805人	338,163人	347,195人	356,680人	361,314人

※ここでの「認知症高齢者」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人」としている



※平成19年～平成26年は各11月30日時点、平成27年以降は4月1日時点

認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方については、2017(平成27年)の65,336人から2020年(令和2年)の77,693人に増加しており、高齢者数(第1号被保険者数)の増加率を大きく上回っている。

また、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方を年齢別に見ると、令和2年度において、64歳以下の若年認知症の方が1,519人おり、65歳以上74歳以下が8,341人、75歳以上が69,352人となっており、75歳以上の方の認知症が多いことがわかる。

○所在地別の認知症高齢者等(日常生活自立度Ⅱ以上)の数

2020(令和2)年4月1日現在の要介護認定申請に係る認定調査において、認知症高齢者等のうち約56%の方が在宅で生活されています。

	認知症 高齢者等	認定申請時の所在(再掲)				
		在宅	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	その他
総数	79,212	44,029	8,295	4,458	161	22,269
40歳～64歳	1,519	845	62	54	2	556
65歳以上	77,693	43,184	8,233	4,404	159	21,713
65～74歳	8,341	5,072	432	264	21	2,552
75歳以上	69,352	38,112	7,801	4,140	138	19,161

※大阪市福祉局調べ 2020年4月1日現在

※「その他の施設」には、認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護適用施設、医療機関(医療療養型医療施設含む。)、ケアハウス、養護老人ホーム等があります。

【参考】認知症高齢者の将来推計について

「数学モデルにより算出された2012年の性・年齢階級別認知症有病率(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」より)を用いて、大阪市内の認知症有病率の将来推計を行った

【数学モデルにより算出された2012年の性・年齢階級別認知症有病率】

年齢階級	男性	女性
65～69歳	1.94%	2.42%
70～74歳	4.30%	5.38%
75～79歳	9.55%	11.95%
80～84歳	21.21%	26.52%
85歳以上	47.09%	58.88%

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業九州大学 二宮教授)による速報値)

【認知症高齢者の将来推計(全国)】

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
認知症有病者数	517万人	602万人	675万人	744万人	799万人	802万人
認知症有病率	15.2%	16.7%	18.5%	20.2%	21.4%	20.7%

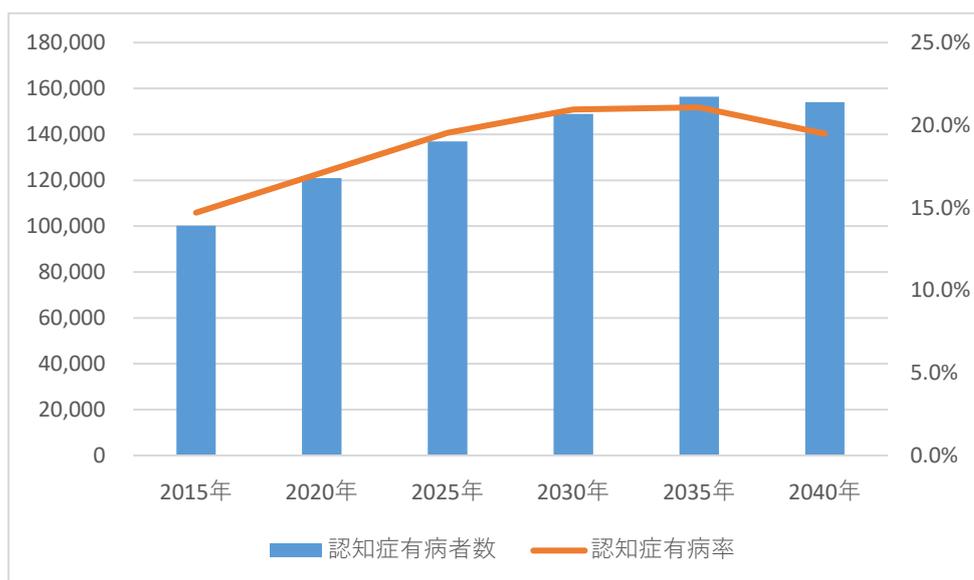
※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業九州大学 二宮教授)による速報値)

【認知症高齢者の将来推計(大阪市・表)】

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
認知症有病者数	10.0万人	12.1万人	13.7万人	14.9万人	15.6万人	15.4万人
認知症有病率	14.7%	17.1%	19.5%	20.9%	21.1%	19.5%

※上記速報値に国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)年3月推計)」による大阪市の男女別・年齢階級別人口の将来推計をかけて算出

【認知症高齢者の将来推計(大阪市・グラフ)】



2. 潜在する認知症高齢者について

令和2年度の65歳以上で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方は、77,693人であるが、厚生労働省の研究によると65歳以上高齢者の認知症有病率は15%と言われており、本市にあてはめると103,151人となることから、介護サービスにつながらず地域に潜在する高齢者は多くいると考えられる。

3. 若年性認知症について

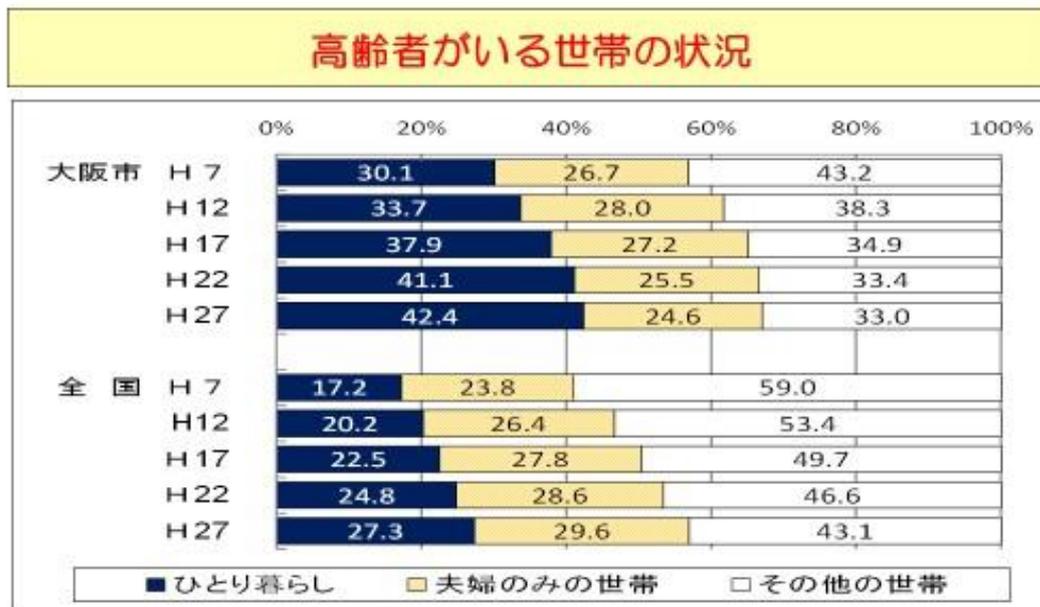
令和2年3月に、日本医療研究開発機構認知症研究開発事業において実施した若年性認知症の実態調査の結果によると、18～64歳人口10万人当たり50.9人で、全国での有病者数は3.57万人と推計されている。これを本市の40～64歳推計人口にあてはめると次のとおりである。

	推計人口数	10万人当たり有病率(人)	若年性認知症(推計値・人)
40～44歳	196,666	8.3	16.3
45～49歳	217,368	17.4	37.8
50～54歳	196,805	43.2	85.0
55～59歳	166,800	110.3	184.0
60～64歳	144,385	274.9	396.9
		計	720.1

※推計人口数は、令和2年4月1日時点(都市計画局調べ)

4. 世帯の状況について

平成27年度国勢調査によると、高齢者がいる世帯の状況として、ひとり暮らしの割合が全国に比べ高い状況となっている。また令和元年度の認知症初期集中支援チームの支援実績でも、支援対象者のうち、ひとり暮らしの方の割合が49%となっている。



総務省統計局 国勢調査, 2016

